

事務事業コード	721111	事務事業名	簡易給水施設水質検査支援事業	担当部	生活環境部
				担当課	環境衛生課
政策名	2	自然にやさしいまちづくり		グループ	環境保全グループ
施策名	2	生活環境の向上		電話番号	45-5111
基本事業名	1	環境衛生の向上		内線番号	1762
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	4	衛生費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 8 年度~)
	項	2	環境衛生費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	1	環境衛生総務費	根拠法令・条例等	霧島市簡易給水補助金交付要綱
	コード	721111			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
水道法が適用されない井戸等の簡易給水施設の水質検査について、補助金を交付することにより、飲料水の衛生状況を確保するとともに、住民の飲料水に関する衛生意識の向上を図る。具体的には、あらかじめ登録を行った施設管理者に対して検査日時の通知を行った後、本庁及び各総合支所窓口において容器の配布及び回収を行う。水質検査業者に当該容器を渡し、検査結果を各管理者へ通知、補助金を交付する。補助金交付額は検査料金の半額である。			広報誌掲載 施設管理者登録 水質検査 補助金交付				
			平成22年度計画				
			平成21年度と同じ				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	補助金交付件数	件	67	58	60	62	
イ	施設管理者新規登録件数	件	10	11	15	15	
ウ	広報誌掲載回数	回	1	1	1	1	
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	霧島市内にある簡易給水施設を管理する者	施設管理者登録件数	件	97	108	123	138
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	簡易給水施設の水質が明らかとなる	補助金交付決定数	件	67	58	60	62
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	衛生的で安全な生活環境が保たれる	生活環境が維持又は改善されていると感じる市民の割合	%	80.3	81.6	80.7	82.8
イ							

(2)事業費 単位:千円

	21年度 (決算)	22年度 (予算)	
予算額	当初予算額	155	155
	補正予算額	0	
	予算合計	155	155
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	87	
	支出合計	87	

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
水道法の適用外となる施設の衛生状況を確保するため、平成8年から旧国分市において実施し、合併を機に市内全域を対象とした。	本事業が開始されて以来、水道法は改正されたが、簡易給水施設は同法適用外のみである。登録者については、合併したこともあり件数が増加した。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
水質を定期的に検査することにより安心して安全な簡易水道を飲料とする事が出来る。今後も行政サービスを継続して行っていただきたい。	特になし

事務事業 コード	721111	事務 事業名	簡易給水施設水質検査支援事業				担当部	生活環境部
							担当課	環境衛生課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費				5		5	5		5
通信運搬費				5		5	5		5
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金	87		87	150		150	150		150
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	87		87	155		155	155		155

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	87		87	155		155	155		155
計	87		87	155		155	155		155

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	155千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	155千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	簡易給水施設の水質検査を支援することで、水質検査を実施する管理者が増え、簡易水道施設の水質が明らかとなり、衛生的で安全な生活環境が保たれる。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、生活環境の向上を施策として定めているため、市がこの事務事業を行うことは妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市内にある簡易給水施設を管理する者に対して、その水質が明らかになることで、衛生的で安全な生活環境が保たれることから対象、意図共に妥当である。
B 有効性 評価	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	H21年度実績の水質検査申込件数は58件であり、H20年度の実績67件を9件下回った。今後、広報等で水質検査の必要性を周知させることにより、成果指数の向上余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	簡易給水施設の管理者は、必ずしも水質管理の専門的な知識を有しない為、専門機関等が検査を行う必要性がある。また廃止・休止をした場合、水質検査を行う管理者の減少が予想され、結果簡易給水施設の衛生的で安全な管理が損なわれる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	見積り入札の上、半額個人負担、半額補助なので事業費自体負担が少ないため、これ以上の削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金の支払いについて、H21年度より市民の方に補助金を差し引いた金額で業者に治めてもらい、業者に補助金分を一括して支払う簡略化した手続きを行っているため、これ以上の業務時間の削減余地はない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	広報誌に掲載して希望者を募っており、特定の方々だけに受益機会を与えているわけではない。またチラシ回覧等で周知しても閲覧されるかは個人差があり、費用対効果は望めないと思われる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	簡易給水施設水質検査の登録者数は増えているが、検査実施者は平成20年度に比べ、平成21年度は減少した。今後も水質検査の必要性を周知させ、検査実施者を今以上に向上させる必要がある。	

3 今後の方向性 <PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
引き続き広報誌で水質の定期検査の必要性を掲載し、本事業の周知を図る。	引き続き広報誌で水質の定期検査の必要性を掲載し、水質検査の未実施者に対して水質検査実施を訴える。

事務事業コード	701120	事務事業名	環境美化里親制度推進事業	担当部	総務部
				担当課	総務課
政策名	2	自然にやさしいまちづくり		グループ	市民運動推進室
施策名	2	生活環境の向上		電話番号	45-5111
基本事業名	2	地域美化活動の促進		内線番号	1145
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	2	総務費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	1	総務管理費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	1	一般管理費	根拠法令・条例等	特になし
	コード	701120			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
市道・公園・河川等で自発的に清掃や花の植栽などの環境美化を行う市民団体等を「環境美化里親」として認定し、市民と行政が協力して快適で美しいまちづくりを推進するモデル事業を実施し、市全体に広げていく。 市道・公園・河川等の里親として認定した団体に対し、看板設置費用や消耗品代を委託経費として支給している。			事務事業の概要と同様				
			平成22年度計画				
		前年度と同様。					
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	環境美化里親数	団体	3	3	6	7	
イ	看板の設置数	箇所	3	3	6	7	
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	ボランティアを推進する市民団体	ボランティアを推進する市民団体	団体	100	100	100	100
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	公共の場(市道や公園等)を環境美化里親制度を活用し、美しい状態に保つ活動を行う。	環境美化里親制度により美化された公園の数	箇所	2	3	6	7
イ		環境美化里親制度により美化された市道の数	箇所	0	0	6	7
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア	地域美化活動に取り組む。	美化活動参加者の割合(年に数回)	%	59.7	56.8	58.5	59.3
イ	”	美化活動参加者の割合(月に数回以上)	%	8.5	7.7	9.5	9.7

(2) 事業費 単位:千円

	21年度 (決算)	22年度 (予算)	
予算額	当初予算額	30	127
	補正予算額	0	
	予算合計	30	127
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	30	
	支出合計	30	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
天降川河川敷公園について、野口老人クラブに管理をお願いしていたが、面積が広く西側河川敷地は管理できないとの申し出があり苦慮していたところ、野口の市民より環境美化里親制度なら引き受けて良いとの申し出があり、モデル的に環境美化里親制度の導入を図り管理を委託したものであり、平成17年度から開始された。	地域内の公共の場の清掃を行う団体や花いっぱい運動を行うボランティア団体が増加している。また、市民と市が協働した美しいまちづくりについて、市民意識が向上してきている。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
地域の特性を活かした美化活動を促進するためには、現在の支援内容では不十分であるという意見がボランティア団体からあった。また、環境美化里親の団体から、団体役員は高齢者が多く、申込書の記入が難しいとの声がある。	市道の美化について、里親制度を利用して事業の展開は出来ないかという意見が出されている。

事務事業 コード	701120	事務 事業名	環境美化里親制度推進事業				担当部	総務部
							担当課	総務課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	30		30	127		127	130		130
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	30		30	127		127	130		130

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	30		30	127		127	130		130
計	30		30	127		127	130		130

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	30千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	30千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道・公園・河川等で自発的に環境美化を行う市民団体を環境美化里親として認定し、市民と行政が協力して快適で美しいまちづくりを推進することにより、市道・公園・河川等の愛護意識が高まり、地域の特性を活かした美化活動が促進される。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市が管理すべき市道、公園や河川等の環境美化を行う市民団体を里親として認定し、その団体の力を活用し、地域の特性を活かした美化活動を促進することから、目的として妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	現在はモデル事業として限定して推進しているが、環境美化里親を希望する団体が増えれば望ましいところである。意図としては、多くの市民が集まる公共の場を美しく保つものとしており、妥当である。
	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	制度を活用し公共の場を清掃する団体が増えることによって、成果を向上させることができる。現在はモデル事業として取り組んでおり、全市的な活動となるには、市民の制度への理解や市道・公園等を管理する関係機関との調整、制度の整備が必要である。
B 有効性 評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市道・公園・河川等を自発的に環境美化を行う市民団体が減少し、市道や公園の愛護意識が薄れ、美しい状態を保つことができなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 網掛川清掃管理委託事業 上記については、公園や河川等を補助金や委託などを活用し管理しており、これらを環境美化里親制度で包括できる余地がある。
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	市民と行政が協働して、市道・公園・河川等の美化活動を推進するためには、看板設置費用や消耗品代など、ある程度の市の負担が必要であり、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	申請業務と委託経費の申請が主な業務である。モデル事業であるため件数が少ないので、現状ではほとんど業務時間がかかっていない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	現在はモデル事業として取り組んでいるが、公共の場で美化活動をしており、美化活動の恩恵は広く市民が受けるものである。また、公共の場の美化活動であり、受益者負担を求める必要はない。したがって、受益機会、費用負担とも公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	現在はモデル的に実施しているが、地域の特性を活かした美化活動に必要なものと考えている。全的に取り組める制度と体制の整備が必要であるが、類似事業との統廃合や連携も必要経費の割合などの問題で進んでいない状況である。	

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
市が行っている様々な事業との連携に向け、必要経費の割合など、制度の改善の検討を行う。	市民と行政が協力して快適で美しいまちづくりを推進するモデル事業を市全体に広げていくために、ボランティア団体、市道や公園を管理する関係機関との調整を行う。

事務事業コード	701120	事務事業名	地域のボランティア活動の推進事業	担当部	総務部
				担当課	総務課
政策名	2	自然にやさしいまちづくり		グループ	市民運動推進室
施策名	2	生活環境の向上		電話番号	45-5111
基本事業名	2	地域美化活動の促進		内線番号	1145
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	2	総務費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 61 年度~)
	項	1	総務管理費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	1	一般管理費	根拠法令・条例等	霧島市生活環境美化条例 第8条
	コード	701120			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
全国老人クラブ連合会が設定した「社会奉仕の日」と鹿児島県が設定した「青少年育成の日」に合わせ、市民総ぐるみでボランティア活動を行う。具体的には、9月の第2土曜日を中心に、地区自治公民館を主体に老・壮・青のふれあいのもとに、地域の実情に応じて、清掃活動(地域内の道路・河川・公共施設・自治公民館・墓地・神社)や独居老人訪問などを実施してもらっている。活動を行った自治公民館には、事業費の助成を行っている。			事務事業の概要と同様			
			平成22年度計画			
		前年度と同様				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	参加した地区自治公民館数	公民館	60	69	75	80
イ	参加人数	人	13,009	13,347	14,000	15,000
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	地区自治公民館及び市民	公民館数	90	89	89	89
イ		人口	127,450	127,662	128,640	128,868
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	美化活動に参加してもらおう	参加した地区自治公民館の割合	66.7	77.5	84.3	89.9
イ	美化活動に参加してもらおう	参加した市民の割合	10.2	10.5	10.9	11.6
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	地域美化活動に取り組む。	美化活動参加者の割合(年に数回)	59.7	56.8	58.5	59.3
イ	”	美化活動参加者の割合(月に数回以上)	8.5	7.7	9.5	9.7

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	900	22年度(予算)	880	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額		0				
	予算合計		900		880		
決算額	国庫補助金		0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		690				
	支出合計		690				
						9月は敬老の日や体育祭など行事が重なるため、日程を変更して欲しいと地区自治公民館長から要望がある。また、ふれあいボランティア活動なのに中高校生の参加が少ないとの意見が自治公民館からある。	特になし

事務事業 コード	701120	事務 事業名	地域のボランティア活動の推進事業				担当部	総務部
							担当課	総務課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	690		690	880		880	890		890
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	690		690	880		880	890		890

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	690		690	880		880	890		890
計	690		690	880		880	890		890

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	900千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計		900千円		

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	701120	事務事業名	地域のボランティア活動の推進事業	担当部	総務部
				担当課	総務課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地区自治公民館を中心とした市民総ぐるみでのボランティア活動により、公共の場を清掃し、まちを美しい状態に保つ活動を行ってもらうことは、地域の特性を活かした美化活動を促進することに結びついている。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各地域ごとの清掃活動は多くの地域で行っているが、市内一斉清掃を行うことによって市民のボランティアへの参加意識の向上と一体感を生むこととなり、地域の特性を活かした美化活動を促進することから、目的として妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民総参加のふれあいボランティア活動として市内全域の清掃活動を推進するため、地区自治公民館を対象とした。意図としては、公共の場の清掃活動あり、妥当である。
	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	本事業は、合併により市内全域に広げたものである。市内全ての地区自治公民館が参加することにより、市民総参加のボランティア活動となるので、その成果を向上させることができる。
B 有効性 評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民のボランティア活動参加の機会が減り、地域の連携意識低下を招く。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費は、各地区自治公民館への事業費助成経費である。すでに各地区自治公民館にも応分の負担をしてもらっており、これ以上の削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	各地区自治公民館からの計画書や報告書を基に支払い事務などを行うものであり、削減の余地はない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受益機会については、直接の受益者は公共の場の一斉清掃活動を実施した地区自治公民館であるが、その活動は公共の場の清掃であり、受益者は広く市民となるので公平である。また、費用負担については、各地区自治公民館にも応分の負担をもらっており、改めて受益者負担を求める必要はないと考える。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内全地区自治公民館の参加にはいたっていないが、参加する地区自治公民館が増加してきている。	

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
市民総ぐるみでのボランティア活動を実現するため、全地区自治公民館の参加をお願いするとともに、学校や教育委員会との連携を図り、中学生・高校生の参加を引続き促進する。	22年度の状況を見ながら、必要な取組みを行っていく。

事務事業コード	701120	事務事業名	花いっぱい運動推進事業	担当部	総務部
				担当課	総務課
政策名	2	自然にやさしいまちづくり		グループ	市民運動推進室
施策名	2	生活環境の向上		電話番号	45-5111
基本事業名	2	地域美化活動の促進		内線番号	1145
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	2	総務費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S45 年度~)
	項	1	総務管理費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	1	一般管理費	根拠法令・条例等	特になし
	コード	701120			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
暮らしの中に花を育て、愛し、親しむことによって、優しい心を培いながら、美しい「花いっぱいの霧島市」をつくるため、花の苗の助成、花いっぱいコンクールの実施、市花の普及(花タバコの鉢植えの配布、学校への苗の配布)、花の育成講習会を行う。 花いっぱい運動を推進する団体として登録の上、公園、学校、市道、集落内の公共施設の周辺部に花を植え、管理までを住民に行ってもらっている。			・花の苗の助成 ・花いっぱいコンクールの実施 平成22年度計画 ・花の苗の助成 ・花いっぱいコンクールの実施 ・花の育成講習会の実施				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	花の苗助成本数	本	88,000	91,750	88,500	90,000	
イ	花いっぱいコンクール参加団体数	団体	41	23	60	60	
ウ	市の花苗、鉢植えの配布数	本	2,000	150	500	500	
対象 (誰、何を対象にしているのか)		対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	花いっぱい運動を推進する団体(自治公民館、老人クラブ、子ども会、企業等)	花いっぱい運動を推進する団体	団体	183	191	200	200
イ	市内小・中学校	市内小・中学校の数	校	46	46	47	47
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)		成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	公共の場(市道や公園、学校等)を花いっぱいの美しい状態に保つ活動を行う。	花いっぱい活動により植栽された学校の数	校	46	46	47	47
イ	"	花いっぱい活動により植栽された公園の数	園	33	41	50	60
ウ	"	花いっぱい活動により植栽された市道の数	箇所	30	24	30	30
結果 (どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	地域美化活動に取り組む	美化活動参加者数の割合(年に数回)	%	59.7	56.8	58.5	59.3
イ	"	美化活動参加者数の割合(月に数回以上)	%	8.5	7.7	9.5	9.7

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	4,210	22年度(予算)	4,271	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 市民が暮らしの中に花を育て、愛し、親しむ気運を醸成するため、花いっぱいコンクールを昭和45年度から実施している。また、平成8年度からは市花の普及、平成14年度から花の育成講習会、平成16年度からは花の苗助成を実施している。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 花いっぱい運動を推進する団体が増加してきている。
	補正予算額		0				
	予算合計		4,210		4,271		
決算額	国庫補助金		0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 花の苗を助成するようになって多くの団体が、ボランティアで市道や公園に花を植えられるようになり、団体からは喜ばれている。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		4,485				
支出合計		4,485					

事務事業コード	701120	事務事業名	花いっぱい運動推進事業	担当部	総務部
				担当課	総務課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	15		15	82		82	82		82
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	195		195	247		247	247		247
消耗品費	195		195	247		247	247		247
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費	80		80						
通信運搬費	80		80						
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費	4,195		4,195	3,942		3,942	4,100		4,100
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	4,485		4,485	4,271		4,271	4,429		4,429

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	4,485		4,485	4,271		4,271	4,429		4,429
計	4,485		4,485	4,271		4,271	4,429		4,429

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	4,210 千円		
	補正予算			
	第1回 (6月)	第5回		
	第2回 (9月)	第6回		
	第3回	第7回		
	第4回	第8回		
予算合計	4,210 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	花いっぱいを推進する団体のボランティア活動の支援として、花の苗の支給を行い、公共の場(市道や公園、学校等)を花いっぱいの美しい状態に保つ活動を市民団体に行ってもらうことは、地域の特性を活かした美化活動を促進することに結びついている。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来市が管理すべき市道や公園等を花いっぱいを推進する団体の力を活用し、地域の特性を活かした美化活動を促進することから、目的として妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	花いっぱい運動を推進する際に個人では活動の継続が困難であることから団体を対象とした。意図としては、多くの市民が利用する公共の場への植栽としており、妥当である。
	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	花いっぱいを推進するボランティア団体の数が増加することにより、より多くの市道や公園等が綺麗になることによって、その成果を向上させることができる。学校に関しては、現状ではほぼ全ての小中学校で活動が展開されていることから向上の余地はない。
B 有効性 評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	花いっぱいを推進する団体が減少するとともに市道や公園等が花いっぱいの美しい状態を保つことができなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 学校に関しては、植栽の一部に花いっぱい運動があるという認識で取り組まれており、実質的には一本化した活動が展開されている。公園に関しては、独自に行っているのは一部であり、ほとんどの公園は本事業として植栽されている。
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費のほぼ全てが花の苗などの購入費である。平米当たりの植栽する花の本数は決まっており、花の本数の削減はできない。また、花の苗の単価も市場価格の7割程度でありこれ以上の削減は難しいため、削減の余地がない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	申請業務、配布業務、報告処理業務等を行っており、市内の一箇所で配ると人件費の削減は可能だが、申請する団体は高齢者の団体が多く各総合支所単位での配布が必要であり、削減の余地はない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	直接の受益者は、花いっぱいを推進する団体であるが、その花は公共の場に植栽されるため、受益者は広く市民と考えられる。また、市道や公園等に花を植える花いっぱい推進する団体への必要な数だけの花苗支給であり、肥料代、人件費等は参加団体が負担している。これらのことから、改めて受益者負担を求める必要はない。また、参加する団体への門戸は開いており、公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 広報活動や推進団体へのお知らせ等により推進団体は増えてきている。活動団体が増えると配布する苗も必要となるが、コストの増加が懸念される。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
花いっぱい推進する団体を増加させるため、広報活動や推進団体の掘り起こしを行う。活動団体が増えると配布する苗も必要となるが、助成の制限を設けたり、種子から育ててもらったりして、コストの増加をできるだけ抑えたい。	花いっぱい推進する団体を増加させるための取組みを引続き行う。

事務事業コード	701120	事務事業名	網掛川清掃管理委託事業	担当部	総務部
				担当課	総務課
政策名	2	自然にやさしいまちづくり		グループ	市民運動推進室
施策名	2	生活環境の向上		電話番号	45-5111
基本事業名	2	地域美化活動の促進		内線番号	1145
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	2	総務費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 49 年度~)
	項	1	総務管理費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	1	一般管理費	根拠法令・条例等	
	コード	701120			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績			
網掛川を愛し、守ることによって、美しい郷土と情操豊かな人間作りを行う事業。溝辺町網掛川の河川周辺の竹子・有川地区に生活する市民が清掃管理団体を組織する。年に2回の愛護作業(清掃・草刈等)並びに総会(前年度の経過報告、決算承認及び当年度の事業計画、予算の承認)の実施。定期的な河川パトロールの実施			溝辺町網掛川を守るための愛護作業年2回並びに総会の開催 定期的な河川パトロールの実施			
			平成22年度計画			
		昨年度と同様。				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	愛護作業の実施回数	回	2	2	2	2
イ	事業参加者	人	500	473	500	500
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	溝辺町竹子地区・有川地区の住民	人	3,458	3,382	3,300	3,300
イ						
ウ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	河川の流域を保全し、美しい状態に保つ活動を行う。	%	14.46	13.99	15.15	15.15
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	地域美化活動に取り組む。	%	59.7	56.8	58.5	59.3
イ	”	%	8.5	7.7	9.5	9.7

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	92	92	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 溝辺町網掛川の河川周辺(竹子地区・有川地区)に生活する市民が、美しい郷土と情操豊かな人間づくりのため、網掛川の清掃・草刈・河川の維持管理の協力などを行う事業として、昭和49年度から開始した。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 河川への不法投棄の増加や雑草の生い茂りを防ぐため、住民へのPRや河川パトロールを実施しており、地域民の河川愛護の意識は向上してきている。
	補正予算額	0			
	予算合計	92	92		
決算額	国庫補助金	0		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 河川周辺の市民が川を愛し、守ることにより、空き缶やチリのポイ捨てが少なくなり、美しい河川が保たれているとの市民の意見がある。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	92			
	支出合計	92			

事務事業コード	701120	事務事業名	網掛川清掃管理委託事業	担当部	総務部
				担当課	総務課

単位:千円	平成21年度(決算)			平成22年度(当初予算)			平成23年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬								
2	給料								
3	職員手当等								
4	共済費								
7	賃金								
8	報償費								
9	旅費								
10	交際費								
11	需用費								
	消耗品費								
	燃料費								
	食料費								
	印刷製本費								
	光熱水費								
	修繕料								
12	役員費								
	通信運搬費								
	広告料								
	手数料								
	保険料								
13	委託料	92	92	92		92	92		92
14	使用料及び賃借料								
15	工事請負費								
16	原材料費								
17	公有財産購入費								
18	備品購入費								
19	負担金補助・交付金								
20	扶助費								
21	貸付金								
22	補償補填及び賠償金								
23	償還金・利子・割引料								
24	投資及び出資金								
25	積立金								
26	寄附金								
27	公課費								
28	繰出金								
	計	92	92	92		92	92		92

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	92		92	92		92	92		92
計	92		92	92		92	92		92

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	92千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	92千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	701120	事務事業名	網掛川清掃管理委託事業	担当部	総務部
				担当課	総務課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	網掛川周辺に居住する市民に対し、河川の流域を保全し美しい状態に保つ活動を行うための委託を行うことは、美化活動に取り組むことに結びつく。
	公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	県や市が管理すべき河川等の環境美化を推進する団体を育成することは、地域美化活動の促進に役立つものであり、妥当である。
	対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象については、網掛川の河川を愛護する団体に対してだけの助成であり、環境美化里親制度の中で全市的な推進を図る必要がある。意図としては、公が管理すべき公共の場(河川)であり、妥当である。
	成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	河川の愛護清掃ばかりでなく、河川パトロール、不法投棄防止指導など様々な活動がされており、河川を保全、清掃する団体が増えることにより、成果を向上させることができる。
B 有効性 評価	廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	網掛川流域を保全し、美しい状態を保つことができなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 環境美化里親制度推進事業 上記については、モデル事業として取り組んでいるが、公共の場を市民と市が共生協働しての美しいまちづくり推進する観点からすると、環境美化里親制度で包括できる余地がある。
C 効率性 評価	事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費は、網掛川の清掃管理団体に対する委託費で、流域を美しい状態を保つための消耗品や燃料費に使われている。すでに経費の半分は自己負担をしてもらっているので、これ以上の削減は難しい。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	申請業務、報告処理業務だけの業務であり、業務量もわずかなことから、削減の余地はない。
D 公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	直接の受益者は網掛川の清掃管理団体だが、公共の場の美化活動を推進する事業であることから、最終的な受益者は市民となるので、受益機会は公平。また、共生・協働のまちづくりを推進する団体への助成であり、経費の半額は、自己負担してもらっているので、負担の面からも公平・公正。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 合併前から続けられていた事業である。今後は環境美化里親制度への一本化が必要である。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果 環境美化里親制度推進事業との統合を図るため、活動内容に応じた経費の助成割合など、環境美化里親制度推進事業制度の改善と併せて引き続き検討を行う。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 環境美化里親制度推進事業に統合する。